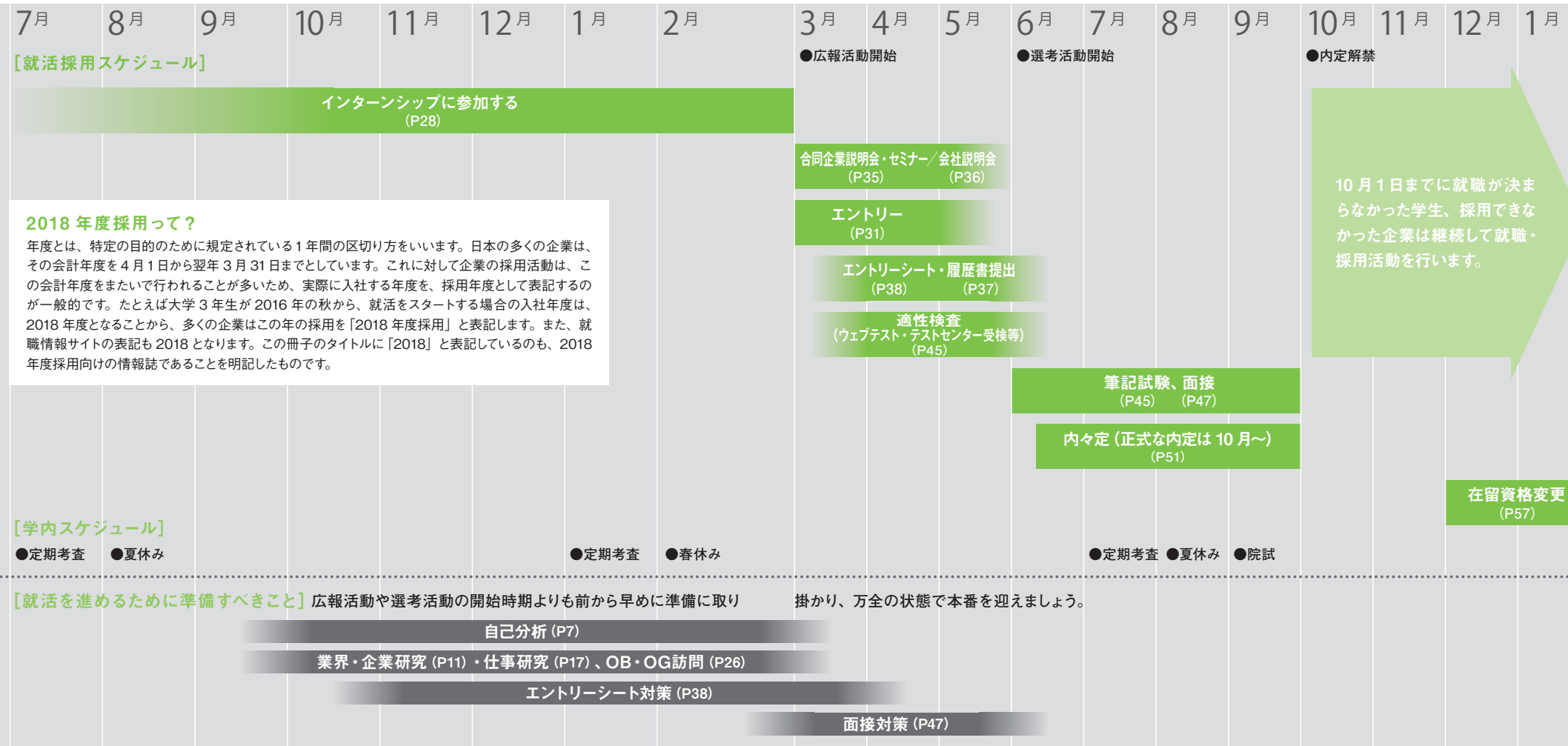


# 就活の進め方

## 2018 年度採用で予想される就活スケジュール

(各企業によって異なるので、積極的に情報収集するようにしましょう)



### 情報源と 収集すべき内容

#### ■大学のキャリアセンター

- ・企業の採用情報
- ・就職に関する個別相談
- ・卒業生リスト
- ・先輩の就活体験談

#### ■新聞

- ・今年度の就職活動の動き
- ・日本社会の動向(経済・政治)
- ・国際情勢
- ・求人情報

#### ■書籍・情報誌

- ・業界動向
- ・就職試験対策
- ・求人企業情報
- ・会社四季報／業界地図

#### ■Web

- ・企業の採用情報
- ・資料請求／エントリー
- ・セミナー申し込み
- ・口コミ情報・就職四季報

#### ■公共機関 裏表紙参照

- ・大学にはない求人票
- ・インターンシップ情報
- ・外国人を対象とする情報
- ・個別の就職相談

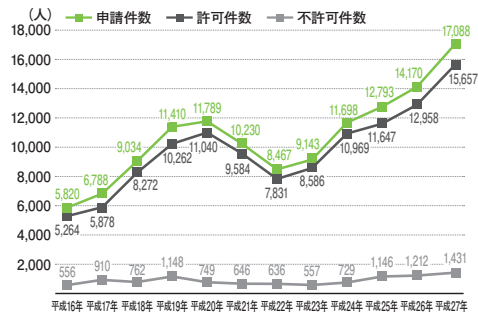
# 留学生の就職状況

## 留学生の就職者数について

平成 27 年 5 月 1 日現在の留学生数は、208,379 人となっており、10 年前と比べ約 1.7 倍に増えています。(独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) 調べ)

一方で、平成 27 年に留学生が日本企業等への就職を目的として在留資格変更許可申請を行った件数は、17,088 人でこのうち 15,657 人が許可されています。ここ数年は増加傾向にありますが、留学生の日本国内の就職は簡単ではありません。

### 留学生からの就職目的の申請数等の推移



出典：法務省入国管理局「平成 27 年における留学生の日本企業等への就職状況について」

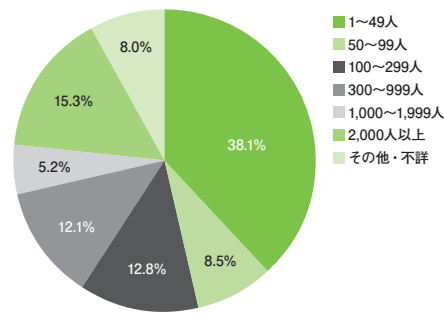
## 就職先の企業規模について

留学生は大企業志向が強く、有名企業への入社意欲が高い傾向にあります。

しかし、右のグラフを見てわかるとおり、1,000 人未満の中堅・中小企業への就職が約 7 割を占めています。またその内 50 人未満の中小企業への就職が約 4 割を占めています。

日本の中小企業は、大企業の下請けの役割を果たすだけではなく、世界ナンバーワンの技術やシェアを持っている優良企業が多数あります。会社の規模だけでなく、企業の事業内容を研究することで就職の幅を広げることができます。

### 就職先の従業員規模



出典：法務省入国管理局「平成 27 年における留学生の日本企業等への就職状況について」

## 就職先の業種と職種について

留学生が就職している業種は、商業・貿易、コンピュータ関連、教育が多く、職種では翻訳・通訳、販売・営業が多いです。どのような業界でどのような仕事をしたいのかを考えてみましょう。

### 就職先の業種と職種の内容

職種	割合 (%)	業種	割合 (%)	業種	割合 (%)
販売・営業	24.3	商業・貿易	21.1	電機	3.4
翻訳・通訳	23.9	コンピュータ関連	10.1	機械	2.9
技術開発 (情報処理分野)	7.8	教育	7.5	食品	2.2
経営・管理業務	7.5	飲食業	3.2	運送機器 (自動車等)	1.9
教育	6.0	土木・建築	2.5	化学	1.0
設計	4.9	ホテル・旅館	2.9	繊維・衣料	1.0
技術開発 (情報処理分野以外)	4.8	旅行業	2.5	金属・鉄鋼	0.3
海外業務	3.4	運輸	1.8	その他製造業	6.9
貿易業務	1.7	金融保険	1.3	製造業	19.7
会計業務	1.7	医療	1.8		
医療	1.5	その他非製造業	25.5		
調査研究	1.1	非製造業	80.3		
デザイン	0.8				
広報・宣伝	0.6				
その他	10.0				

出典：法務省入国管理局「平成 27 年における留学生の日本企業等への就職状況について」

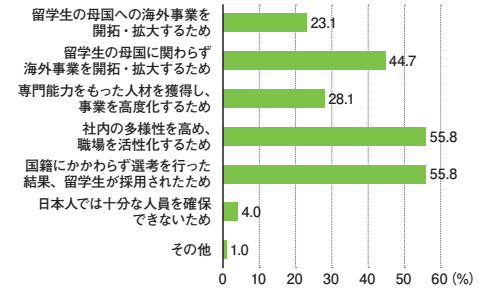
# 日本企業の留学生採用ニーズ

就職活動を始めるにあたり、日本企業が外国人留学生に何を求めているのかを知ることが大切です。

## 留学生を採用する目的について

日本企業による留学生の採用目的は、大きく 3 つに分類されます。まず 1 つ目は、国籍不問採用です。国籍不問採用とは「国籍に関係なく優秀な人材を求める」という採用方針です。2 つ目は、ブリッジ要員としての採用です。ブリッジ要員とは海外との架け橋となる人材のことです。3 つ目は、ダイバーシティ要員としての採用です。ダイバーシティ要員とは、文化背景の異なる人材のことです。多様な背景をもつ人材を意識的に社内に取り込むことにより、組織活性化を目的としています。

### 採用理由

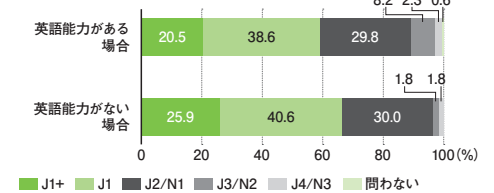


出典：経済産業省「外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査」(2015 年)

## 留学生に求める日本語能力について

留学生の就職活動において、企業が最も注目している能力が日本語能力です。就職活動では必ずエントリーシートの提出・面接というステップを踏まなければなりません。企業は採用において面接を重要視するため、「聞く力」・「話す力」がなければ内定を獲得することは難しくなります。日本企業が採用時に求める日本語能力は、英語能力がない留学生については 9 割以上が N1 以上と回答しています。英語ができる学生については、N2 でも可とする企業も少数ですがあります。

### 求める日本語能力



出典：経済産業省「外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査」(2015 年)

## 採用時に重視する能力について

留学生の採用において、最も重視される能力は、「日本語能力」、次に「コミュニケーション能力」です。その他に「バイタリティ」、「熱意 (志望度)」も重要視されます。「バイタリティ」とは苦難や障害を乗り越えていくような力強さのことです。「熱意」は入社意欲をアピールをすることです。業種別では、製造業は「専門性」、「英語力」が重視される傾向があります。

### 採用時に重視する能力

採用時に重視する項目	製造業 (%)	非製造業 (%)
語学力 (日本語)	64.8	75.7
コミュニケーション能力	55.2	65.4
バイタリティ	41.9	33.6
熱意 (志望度)	28.6	29.0
専門性	26.7	22.4
語学力 (英語)	19.0	11.2
発想の豊かさ	14.3	14.0
リーダーシップ	9.5	7.5
出身大学	4.8	3.7
大学の成績	1.9	1.9

出典：経済産業省「平成 24 年度日本企業における高度外国人採用・活用に関する調査」